

# セーフコミュニティ通信

Vol. R7-1

2026/1/15 発行

## Topic 01 2回目のセーフコミュニティ国際認証を取得しました



事故やケガを予防するため、市民団体や企業、警察、市などでネットワークを作り、データ（根拠）に基づく取組を行い、市民が安全に安心して暮らせるまちづくりを進める取組である、「セーフコミュニティ」について、2回目の国際認証に向けて、本年8月に現地審査を実施しました（詳細はTopic02を御参照ください。）。

審査の結果、本市の取組が認められ、令和7年11月21日（金）に開催された「さいたま市セーフコミュニティ認証式典」において、国際セーフコミュニティ認証センターとさいたま市の間で、合意書署名などの正式な手続きを経て、2回目の国際認証を取得しました。※ 本市は、令和元年11月に1回目の国際認証を取得しています。

### ◎当日のプログラム

- 01 市長式辞
- 02 ☆合意書署名
- 03 認証盾、認証旗授与
- 04 審査員祝辞
- 05 議長祝辞
- 06 来賓紹介
- 07 ☆感謝状贈呈

## Topic 02 8月に現地審査を実施しました



2回目のセーフコミュニティ国際認証の取得に向けて、令和7年8月26日・27日の2日間に渡り、現地審査を実施しました。

審査では、海外から審査員2名を招へいし、本市の活動報告やゲートキーパー研修・あいばれっとの視察を行いました。審査の結果、本市の取組が認められ、国際認証の内定をいただきました。

### ☆合意書へサイン



### 市長ら6名が合意書へ署名

市長や議長をはじめとする地域の代表者と、本年8月の現地審査で審査員を務めたパク・ナムス氏など計6名が合意書へ署名し、正式に2回目の国際認証を取得しました。

※ 当日欠席された国際セーフコミュニティ認証センター長のレザ・モハマディ氏からは、事前に署名をいただきました。

### ☆対策委員会へ感謝状贈呈



### 対策委員会委員へ市長から感謝状を贈呈

国際認証の取得に御尽力いただいた各対策委員会委員の皆様へ感謝状を贈呈しました。式典では、各対策委員会を代表して委員長が市長から感謝状を受け取りました。

※ 本市では、6つの分野（高齢者の安全、子どもの安全、自転車の安全、DV防止、自殺予防、防犯）で対策委員会を設置しております。

### ◎審査スケジュール

8月26日	8月27日
開会	高齢者の安全対策委員会
全体説明 データ分析検討会議	自転車の安全対策委員会
自殺予防対策委員会（※1）	あいばれっと視察
防犯対策委員会	審査員講評・閉会
子どもの安全対策委員会	—
DV防止対策委員会	—

※1 ゲートキーパー研修視察含む



セーフコミュニティ  
公認審査員  
**レザ・モハマディ氏**

#### ＜評価ポイント＞

- さいたま市の「地域の力」は、市の特徴であり、大きな財産である。
- 地域と行政が力を合わせて主体的に取組を進めている。

#### ＜今後本市に期待すること＞

- 対策委員会同士の協働・コラボレーションをさらに進めること。
- 数値や件数には表れにくいリスク者の状況を確認すること。